

学校だより



市川市立平田小学校

いなほ
稲穂

学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.11

R6年9月11日

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

校長 蜂須賀 久幸



嘘を吐かなくて済む環境に

嘘の吐けない不動産営業マンを演じる山下智久さんのドラマ『正直不動産』では、「私は嘘が吐けないので…」という決めゼリフがありました。「千三つ」（物件成約率が、1000件のうち3件程度という成功確率の低さ、あるいは1000の言葉のうちに真実は3つしかないほどの嘘つき）という不動産業界の言葉があるそうですが、饒舌で言葉巧みなのも考えものだと思って観ていました。

嘘を吐いたことのない人はいないでしょう。明鏡国語辞典では、嘘を“事実でないことを本当であるかのようにだまして言う言葉、また事実ではないこと”としています。何を隠そう、HP掲載のブログを家族は「嘘つきブログ」と揶揄します。まことしやかに嘘を綴っているように言い放ちますが、必要に応じて脚色はあるものです。

さて、人は嘘に対して好ましくない感情を抱きますが、日本の大学生を対象にしたある調査では、一人1日平均2回程度嘘を吐いているという結果が出ています。それほど嘘は、私たちにとって身近なものと言えそうです。逆に、切っては切り離せないもので、必要な時もあることを考えると、私たちの脳内では次々と葛藤が沸き起こり、その都度バランスを保つ処理が行われていると思えてなりません。

ところで、子供の嘘と大人の嘘の大きな違いは、嘘を吐く理由・目的が「利益獲得のため」と「失敗をごまかして罰を回避するため」の比率にあるのかもしれませんが。子供の場合は、後者の割合が極めて高いといえるでしょう。しかしながら、どちらも周囲の環境が起因・影響していそうです。「Aさんは正直者だ」とか「Bさんは嘘つきだ」と個人評価をしがちですが、一概にそうとはいえません。先生や親にはよく嘘を吐いても、子供同士ではそんなことはないといった事例もたくさんあるからです。ただし、脳が嘘を吐くことに慣れてしまうことだけは避けなければなりません。初期の段階で踏みとどまれるかどうかは大事なポイントとなりそうです。だからこそ、嘘を吐かなくて済むような環境に身を置いたり、そうした環境を整えたりすることが求められるといえるのではないでしょうか。

一方、フェイクニュースの動画や音声のように、悪意や快楽で広がる嘘もあることを十分知っていることも大切です。現在のように情報があふれている社会では、嘘を見抜くことがとても難しいと言われるます。フェイクの中にも真実が混在している場合があるからです。ですから、安易に情報の拡散に加担しない慎重さと冷静さ、判断力が、大人子供関係なく求められるわけです。

子供と向き合ったときに、その子の脳の中で起きている葛藤や嘘の要因、周囲における立場などを理解して向き合うことをこれからも忘れないようにしたいと思います。



右は6月末に実施した学校評価の結果です。児童数を基にした回答率は、残念ながら6割に届きませんでした。また、下の表は5・6年児童を対象としたアンケート結果ですので、保護者と児童を比較する見方もあります。今回から新たな設問が設けられています。家庭学習を含めて、主体的に学習に取り組むことについては、普段の学習内容やその形態、あるいはタブレットの活用方法などが課題と考えられます。児童の興味関心を掘り下げられるように、各学級・学年で行われるよい実践を共有して、校内に広められるようでありたいと考えます。

令和6年度 保護者学校評価の結果（6月実施）

	評価項目	肯定的回答
お子さんについて	① お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか。	86.3%
	② お子さんは、目標をもって学習したり生活したりしていますか。	73.3%
	③ お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味をもって学習に取り組んでいますか。	68.1%
	④ お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	57.0%
	⑤ お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	43.3%
	⑥ お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。	72.2%
	⑦ お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。	72.6%
	⑧ お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。	79.6%
	⑨ お子さんは、自己肯定感あるいは自信が高まっていると思いますか。	76.3%
学校について	⑩ 学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取り組みを進めていると思いますか。	85.2%
	⑪ 学校は、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。	71.9%
	⑫ 学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。	78.1%
	⑬ おたよりやメール、学校HP等で適切に情報提供を行い、保護者・地域に理解されるように努めていると思いますか。	90.0%
	⑭ 学校は、児童とともに清掃活動や環境美化に力を入れて、きれいな学校づくりに努めていると思いますか。	90.0%

令和6年度 児童学校評価（4～6月）

	評価項目	肯定	市
自分について	① 友だちの良いところを見つけることができますか。	89.9%	92
	② 目標をもって学習したり、生活したりしていますか。	76.4%	81
	③ 調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味をもって学習に取り組んでいますか。	71.6%	77
	④ 日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	55.4%	59
	⑤ 本を読むことや読み聞かせ（語り聞かせ）は好きですか。	75.7%	-
	⑥ 日々の学習で、タブレットを活用していますか。 (4:ほぼ毎日 3:週2～3日 2:週1日 1:していない)	66.9%	77
	⑦ 家庭学習の習慣が身についていると思いますか。	75.7%	-
	⑧ 日頃から運動やスポーツに親しんでいますか。	67.6%	72
	⑨ 給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。	81.8%	83
	⑩ 健康な生活を送るために、睡眠や食事などの基本的な生活習慣を意識した実践(じっせん)をしていますか。	77.7%	-
	⑪ 家族・友だち・先生・お客様・地域の人・見守りの保護者など、だれにでもよいねいあいさつをしていますか。	86.5%	-
	⑫ 「自分が好き」という思いや「自信」は、これまでより高まっていると思いますか。	69.6%	-
学校について	⑬ 学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。	54.7%	54
	⑭ 困ったことがあった時に相談できる先生がいますか。	71.6%	74
	⑮ 学校の活動では、体験（見る・聞く・触れる）や交流が取り入れられていると思いますか。	89.9%	86
	⑯ 清掃活動に真剣に取り組む、部屋やトイレの使い方にも気をつけてきれいな学校をめざしていますか。	91.9%	-

アンケートは高学年児童対象ですが、保護者同様に年2回のアンケートを行い、取り組みに対する意識の変容を追っていきます。①のような場面を意図的に作りながら、⑫が高まっていくことに期待します。また、⑯が9割を超えていることはうれしい点です。一方で、⑭が7割強にとどまったことは残念です。多くの教職員と接したり話したりする場面を設けながら、親近感や安心感を醸成していきましょう。市内全小学校の結果を脇に添えましたので、参考にしてください。